

令和7年度茅ヶ崎市社会教育委員の会議臨時会会議録

議題	(1) 答申作成について (2) 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について (3) その他 ・今後の会議スケジュールについて
日時	令和7年10月24日（金） 10：00～11：30
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎5階 E会議室
出席者氏名	(委員) 議長：吉原 弘子 副議長：宮下 孝義 下村 耕一郎、青木 千賀子、加藤 盛朗、沼上 純子、 深井 孝一、城田 穎行、山下 理恵、山本 珠美 (事務局) 松岡教育推進部長 [社会教育課] 仲手川課長、内海課長補佐、木村主任 栗原（会計年度任用職員）
会議資料	・次第・委員名簿 ・資料1：答申素案 ・資料2：地域学校協働活動推進員 活動時間検討調査 ・資料3：答申作成スケジュール ・参考資料：第56回関東甲信越静社会教育研究大会冊子（案） 【抜粋】
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	0人

（会議の記録）

○仲手川社会教育課長

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。ただ今より、令和7年度社会教育委員の会議の臨時会を開催いたします。

社会教育委員の定数は10人となりますが、本日は過半数の出席をいただいておりますので、茅ヶ崎市社会教育委員会議規則第4条の規定により、会議は成立していることを御報告させていただきます。また、10月1日付で職員の人事異動がありましたので御報告させていただきます。新たに社会教育担当に副主査葛西が配属となりました。本日は欠席

となりますので、次回改めて御紹介をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
ここからは、吉原議長に進行をお願いいたします。

○吉原議長

皆様、こんにちは。今日は答申素案の審議と来月開催される関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に向けて、皆さんにお集まりいただきました。皆さんの忌憚のない御意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、ただ今から、令和7年度社会教育委員の会議臨時会を開催いたします。会議録につきましては、事務局にて案を作成し、各委員に御確認いただいたうえで決定し、公開となります。

会議開催に先立ちまして、配付された資料の説明を事務局よりお願ひいたします。

(事務局より①配付資料の説明、②宮下委員、下村委員が所用で11時過ぎに退席するため、議題1と2の順番を入れ替えることを説明。)

○吉原議長

それでは「議題2 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について」に入ります。「第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会」の第4分科会の発表について、リハーサルを兼ねて下村委員に発表をしていただくこととなっております。

それでは下村委員より発表をお願いいたします。

(下村委員よりリハーサルを兼ねた発表を行う)

○吉原議長

御多忙の中、資料作成に御尽力いただき、誠にありがとうございます。発表時間や内容には問題ないように思います。聴いていただいて、何かお気づきの点や、追加すべき内容などございましたら、忌憚のない御意見をいただければ幸いです。

下村委員が茅ヶ崎市を代表して発表されますので、皆様と共に支えていきたいと考えております。そのためにも、どうぞ御意見をいただけますようお願い申し上げます。

いかがでしょうか。

○沼上委員

冒頭、茅ヶ崎市の社会教育主事のメンバーをこのように紹介したのはとてもよいと思いました。発表の出だしとして、とても重要な部分ですし、実際に社会教育主事を配置していない市町村もある中で、茅ヶ崎市にはこれだけのメンバーが社会教育主事会にいるということが写真で示されていて、感動いたしました。

もう一点、社会教育委員としては少し恥ずかしい意見なのですが、スライドの挿絵で、

茅ヶ崎市のキャラクター「えぼし麻呂」が載っていますが、えぼし麻呂の横に同じく茅ヶ崎市のキャラクターの「ミーナちゃん」も入れていただけたら嬉しいです。

○吉原議長

他にございますか。

○山本委員

写真が入ったバージョンになって、とてもスライドが見やすく、分かりやすい資料になったと思いました。御多忙の中、資料の御準備大変だったことと思いますが、ありがとうございます。

発表の最後に「社会教育委員の中に県立支援学校の関係者が加わることで、新たな視点が得られる」という旨が盛り込まれていた点がとてもよかったです。神奈川県の場合、支援学校は県立学校が多いのですか。そうでないところもありますか。

○下村委員

横浜市と横須賀などには市立の支援学校があります。

○山本委員

支援学校の先生が社会教育委員となっているというところは、ひとつとも大きなことだと思います。どうしても、市の教育委員会ですと、市立の小中学校の先生とはつながりやすいところではあるのですが、県立の学校と市の教育委員会がつながるというのが意外と難しいというようなこともあります。市内団体の代表者が多いなかで、そこに県立学校であっても参加できるということは、意外と盲点になりがちな点です。「県立学校の教員も市の社会教育委員として活動している」というところは、ひとつの発表のポイントになりますし、よりアピールしてもよいのかと思いました。

発表は大変聞きやすかったですし、とにかく資料がとても分かりやすかったです。ありがとうございました。

○吉原議長

他にどうでしょうか。部長、課長、いかがですか。

○仲手川社会教育課長

はい。本日初めて拝見いたしましたが、内容に集中することができて、発表時間の30分があつという間でした。

支援学校の高等部の話をすると、3年生などは、卒業後に学びや交流の場がなくなってしまうことへの不安を抱える保護者の方もいらっしゃると聞いています。そういう中で、こういった取り組みをきっかけに、スポーツ施策や福祉施策など、様々な施策と連動

させながら社会全体で支えていくことの第一歩となることを期待しております。以上です。

○吉原議長

ありがとうございます。部長、いかがでしょうか。

○松岡教育推進部長

私も内容的に非常に分かりやすい発表だと感じました。実際、今回このテーマで参加するにあたり、社会教育委員の会議において、深く議論を重ねて臨んでいるので、理論的な話に終始するのではなく、実際に本市の公民館が活動し始めたことをしっかりと織り交ぜながら、それについてまた課題を認識し、次へつなげていくというところを、各フェーズでしっかりととらえて発表いただいているので、先につながっていくような内容になっていて、非常に良いと感じております。

○吉原議長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○事務局

事務局から御相談がございます。社会教育委員の皆様の写真も発表資料に掲載させていただけないかと考えております。社会教育主事会メンバーの写真と同様に資料に掲載することで、より会議の雰囲気が伝わるのではないかと思います。委員の皆様から御承知が得られたらというところですが、いかがでしょうか。もしよろしければ、この場で集合写真を撮影させていただくことも可能です。

(一同了承。集合写真の撮影を行う。)

○吉原議長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

○深井委員

発表ありがとうございました。起草委員会の中で、国籍の異なる方々についての言及があつたかと思いますが、発表の中に国籍という言葉がありませんでしたので、まとめの文書の中だけでも「国籍」と盛り込んでいかがかと思いました。

○吉原議長

御意見として承ります。ありがとうございます。城田委員、いかがでしょうか。

○城田委員

特段意見するべき点はありませんでした。とてもよかったです。

○吉原議長

ありがとうございます。山下委員、いかがでしょうか。

○山下委員

発表の御準備、ありがとうございました。発表の中にあった公民館の講座は、支援学校と支援級に通学されている生徒さん限定で行われていましたが、今後、参加対象を「障がいのあるかた限定」だけではなく「一般の方も参加可能です」や、「お手伝いくださる方も募集しています」とすることで、一般の方が関わる機会や交流を促進していくことができると思います。そういうことを今後の課題として盛り込んでもよいのかなと思いました。

また、資料がとても分かりやすくまとめられているので、持ち帰って読んでいただくことよく理解できるなと思いました。アンケート結果に関しては、一点だけでも特に印象的な意見などを抜粋して御紹介いただけすると、より説得力が増すのではないかと感じました。とても良い発表にまとめてください、ありがとうございました。

○吉原議長

ありがとうございました。青木委員、いかがでしょうか。

○青木委員

はい。私も山下委員と同様の意見ですが、アンケート結果の良い点を抽出して、今後の参考として、より良い方向へつなげていかれるように活用していただきたいと思いました。

私自身の勉強不足で恐縮ですが、鶴嶺公民館で障がい者に関する取り組みが行われていることを知りませんでした。私たちも今後、関わっていきたいと考えております。ありがとうございます。

○吉原議長

ありがとうございました。加藤委員、いかがでしょうか。

○加藤委員

前回の研修大会に参加した時に発表を拝見して、意見させていただいておりますので、特にありません。

○吉原議長

ありがとうございました。宮下委員、いかがでしょうか。

○宮下委員

ありがとうございます。下村委員のとても素敵な発表だと思いました。完成形の発表を初めて拝見させていただいて、考え方を形にしていただき、全体的な流れ・視点がとてもインパクトのある発表になったと、そんな感想を率直に持ちました。

細かい部分ですが、冒頭に出てくる教職員と保護者向けのアンケートですが、各項目の回答人数の合計が合わないように見受けられました。教職員向けのアンケートについても、教職員全員にアンケートを依頼したのか、対象がよく分からず、有効回答の人数も不明でした。保護者についても同様で、かなりの数があるとのことですが、どのような保護者を対象としたのか、といった詳細が分かりませんでした。そう考えると、このアンケート結果を、回答人数を盛り込んだ資料として載せるよりも、むしろ「このような質問をしました」という質問項目を提示するだけでも十分ではないかと感じました。アンケートを受けてのまとめの項目はとても良いものになっていると思います。ありがとうございます。

○吉原議長

ありがとうございました。私も今日初めて下村委員の発表を聞かせていただきました。前回の発表デモンストレーションをおこなった際、アンケートや、オブザーバーとして参加された先生方からも、発表が非常に聞きやすく良かったという感想をいただいております。

本日の発表内容は、下村委員が社会教育委員に就任されて間もない中で、前任の徳永委員から発表を引き継がれたにも関わらず、大変素晴らしいものでした。社会教育委員の活動についてあまり御存じない状況で発表に臨まれたかと思いますが、事務局がその点を補足してくださったことだと思います。

アンケート結果には、社会教育委員の活動が見えにくいという意見もありましたが、本日お話くださったことに加えて、今日撮影してくださったこの会議風景の写真を合わせることで、「茅ヶ崎の社会教育委員はこのような10名のメンバーである」ということが伝わり、今後につながるものと感じております。

宮下委員がおっしゃるように、私もアンケートそのものを全て掲載するのではなく、質問項目を提示し、それに対してどんな回答が一番だったかを説明されたほうが、会場の方々にもより分かりやすく伝わるのではないかと思います。

また、全国の市町村の方々は、もちろん社会教育主事については御存じなのですが、その主事会に社会教育委員の委員が参加したことについては、もう少し言及されても良いかと思います。茅ヶ崎市の社会教育において、社会教育主事会はかなりの歴史があって、これまで多くの調査研究が行われてきました。その中でも、障がい者を対象とした調査研究

は今回が初めてです。支援学校の先生が主事会の会議に参加され、本日の発表が成り立っていると思いますので、その経緯や背景をもう少し丁寧に説明されたほうが良いかと感じました。

発表そのものは聞きやすく、声のトーンも大変良かったと思います。どうしても制限時間が気になって早口になってしまふ部分もあるかと思いますが、ここぞというポイントは丁寧に説明してくださればと思います。

また、まとめの部分についても、社会教育委員としての茅ヶ崎市の発表であることを示す内容を盛り込んでくださっていて、とてもよかったです。また何かありましたら、発表まで時間がございますので、事務局と相談いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

○下村委員

はい。ありがとうございます。

○吉原議長

発表を行う第4分科会は、80人弱と参加人数が最も少ないので、東京家政大学の白木先生のお話を伺ったところ、そのくらいの人数の方がとてもやりやすいということでした。本当にこのテーマに関心があって、参加したいという強い思いを持つ方々が、県外からもお集まりいただければ、とても身になる話になろうかと思います。

下村委員はいつもお子さんや保護者さんの前でお話されていらっしゃるので、慣れていらっしゃるとは思いますが、ぜひ緊張なさらず、よろしくお願ひいたします。

○吉原議長

それでは、「議題1 答申作成について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

(事務局より、資料1、2を説明)

○吉原議長

ありがとうございました。宮下委員には、お忙しい中、教頭会でのアンケート実施に御協力いただきました。本当に丁寧に現場の生の声を収集いただきまして、大変参考になりました。アンケートの結果は事務局の方でまとめていただきました。本日皆さん的手元に初めて配付されていますので、御覧いただき、もし何かございましたら、御意見をいただければと思います。

○宮下委員

ありがとうございます。12ページでアンケート結果をグラフでお示しいただいています。「想定される活動に対する平均活動時間」については、各アンケート項目に対しての

平均値が示されていますが、学校によってまちまちの数字が回答されているので、この平均値の扱いが難しいかと思います。例えば、平均値の下に最小値と最大値を追記していくだけると、その幅を示すことができて、それくらいの幅があって学校は捉えているということを理解してもらえるかと思います。

○事務局

分かりました。追記させていただきます。

○吉原議長

はい。よろしくお願ひいたします。他にいかがでしょうか。

○山本委員

確認ですが、今日配布されている資料2は答申には入らないという認識でよろしいでしょうか。

○事務局

はい。資料2自体は入りません。

○山本委員

分かりました。資料2は別途調査したものということになりますね。資料2のアンケートの結果を、12ページの「推進員の活動時間」にまとめられていると思いますが、6ページに掲載されているアンケートとは別に行なったアンケートの結果であるということを記載しておかないと、読み手が混乱してしまうかと思います。

○吉原議長

ありがとうございます。

○事務局

宮下委員、教頭会でアンケートを依頼した旨を記載すること自体は、特に問題ありませんでしょうか。

○宮下委員

はい。追記していただいて構いません。

○事務局

分かりました。では修正させていただきます。

○宮下委員

ただ、あくまで教頭の回答なので、非常に弱いかなとは思っているのですが、そこの部分は御承知おきください。

○吉原議長

いえいえ、とても参考になりましたよ。他にはいかがでしょうか。

(宮下委員、下村委員、退席)

○深井委員

答申内に掲載されている横棒グラフについてですが、時間などの指標がない横棒グラフについては、基本的に上から大きい数字順に並んでいた方が、どの回答が多かったかの説明をせずとも、目視的に見やすく理解度が得られやすいと思います。いかがでしょうか。

○吉原議長

事務局、いかがですか。

○事務局

委員の皆様の御了承いただけるのであれば、修正は可能です。

○吉原議長

皆様、いかがでしょうか。

(特に声なし)

○吉原議長

では、事務局の方で修正をお願いします。他に何かござりますか。

○深井委員

すみません。もう一つ、答申全体に対しての話をしてもよろしいでしょうか。

私が、最初にこの答申に目を通した時に、諮問に対しての答申が分かりづらく、どこが社会教育委員の答えなのだろうと思ってしまいました。神奈川県や藤沢市など、他の自治体の答申を見てみると、「〇〇の諮問に対して、以下答申します」という結論がまず先にあって、その後にその要旨や現状説明があり、最後に参考資料としてこういったグラフなどが表記されているという形式でした。茅ヶ崎市の答申は現状のフォームが多いですが、諮問に対する方針としては、結論を先に示した方が分かりやすくなるのではないのでしょうか。

○吉原議長

県の理事会に出席しても、県下37市町村くらいある中で、定期的にこのような諮問・答申を行っているのは茅ヶ崎市だけです。こういうことを全くしたことがないという市や町の方が多いです。今、深井委員がおっしゃった疑問点ですが、茅ヶ崎市の社会教育委員では、もうずっとこのやり方で今まで来ているというのが現状です。

文化生涯学習プラン推進委員会の諮問・答申なども同じような形式ですか。

○沼上委員

同じです。

○深井委員

神奈川県や横浜市、藤沢市、平塚市も、まずは結論があり、概要があって、参考資料という構成になっています。現状を把握し、課題を絞り出し、その課題についてどうしよう、最後にこう対策しますという形でやっているのは、茅ヶ崎市と鎌倉市だけです。

今回「地域学校協働活動の推進について」ということで諮問されているので、「地域学校協働活動推進員を配置する」というのが結論かと思いました。まず、それを結論として掲げて、それぞれのアンケート結果の代表的なところを載せ、最後に参考資料としてグラフが載っている、というのがよいのかと思いました。

○沼上委員

教育委員会にこの答申を提出するので、4人の教育委員の方々も、教育長に提出したこの書面に目を通すと思います。この答申を見た時に、「地域学校協働活動推進」とはいったい何なのかと思っている委員の方も多いと思います。その点では、今のスタイルの答申が、「初めに」から「なぜこういうことがあったのか」と丁寧に順を追って構成されていて、経過や用語の説明を読みながら、少しづつ理解を進めていく中で、最後にまとめがあるという形なので、私はこの方が分かりやすいと思います。

○山本委員

諮問に関する答申のスタイルには2種類あると私は思っています。一つは、これでよいか、イエスかノーかと聞かれて、「はい、イエスです」「いいえ、ノーです」と答えるようなタイプです。もう一つは、例えば、今後の政策について御意見くださいというように聞かれて、それに対して、こういう背景、現状はこうで、だからこういう風に進めていったらよいですよというようなことを書くタイプです。今回はどちらのタイプかというと、多分、両者が相まっているような気がします。

深井委員がおっしゃっているように、今回、我々の結論ははっきりしていて「地域学校協働活動推進員を置いてください」という明確な答えが出ているので、そこはイエス・ノータイプの答申の書き方で、結論を前面に提示したほうがよいと私も思います。

ただ一方で、沼上委員がおっしゃられたように、その言葉の意味だとか、その背景だとか、そういうことも丁寧に説明していかないと分からぬといふことも、その通りだと思います。そういった意味では、今回の答申は折衷案という感じでまとめるのがよいかと思います。このままでは結論がどこかよく分からぬといふのは、その通りだと思いますし、いろいろなことに取り組まれている教育長や教育委員の方々には、「結論は何なのかな」と思われてしまいかねないです。ただ、これから答申の構成を大きく変更するのは難しいかもと思います。構成は変えられなくとも、結論部分を四角で囲うとか、太字にするとかで強調して、「これが結論です」と分かるような書き方をするのがよいと思います。

○吉原議長

ありがとうございます。

○事務局

10ページの「Ⅲ 茅ヶ崎市としての今後のあり方について」というところが、まさに社会教育委員の皆様がおっしゃりたいことで、特に11ページの3行目にある「地域学校協働活動推進員を配置することが第一歩であり」というのが、まさに今回の答申の中で委員の皆さんのが推したいことだと思います。この部分を何か強調するというイメージでよろしいですか。

○山本委員

例えば、項目Ⅲの文章が始まる前に、結論を先に四角で囲って掲げるはどうでしょう。今は結論が文章に埋もれてしまっていて、それが分かりにくさにつながっていると思います。

○事務局

深井委員から御指摘いただいた部分について、これから構成を変更することは難しいですが、山本委員の御意見のような形での修正はできると思います。

○吉原議長

よろしくお願ひいたします。

今回この答申を出すにあたって、できれば事務局を通して、直接、教育長と教育委員の方々に直接お渡しする機会を設けていただければと考えています。コロナ前は、答申を提出する際に、事前に資料をお渡しし、目を通させていただいた上で、私たち社会教育委員と教育委員の皆さんまで、直接お話をする機会を設けてもらっていました。しかし、前回の建議書は、残念ながらコロナ明け直後で、私が皆さんを代表して教育長にお渡ししております。社会教育委員の仕事の一つに、教育委員会へ意見を述べることができる、というものがあります。茅ヶ崎市では、答申提出の場がそのような場となっていると県へも報告し

ておりました。教育委員会の会議に出席して説明するということは、なかなか大変なことですので、今回も答申提出時にそのような場を設けていただければと思っています。

また、今頂戴した御意見につきましては、今日ここで決定するというかたちが取れませんので、一旦お預かりし、11月末の神奈川大会が終わったころに、次の起草委員会を開きたいと思います。今日の皆さんのお意見を元に、再度直すところは直して、委員の皆様には事務局から都度御連絡をし、御意見を頂戴したいです。最終的に来年2月の定例会に、まとめたものをお出しするというかたちを取らせていただきます。すみませんが事務局と起草委員に一任いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

○山本委員

先ほどの答申の渡し方についてですが、私は教育委員会の会議に出席してお渡しする方がよいのではないかと思っています。社会教育委員10人全員が出席することは難しいかもしれません、教育委員会の会議の場でお渡しすることで、答申をお渡ししたということを議事録に残すことができるということに意味があると思います。今まで通り、別途お渡しする場を設けるというやり方も、もちろんあります。

○吉原議長

それはただセレモニーでお渡ししているようになってしまいますね。

○山本委員

社会教育委員には法律上、正式な教育委員会の場に出席できる権利があります。以前、私が丸亀市の社会教育委員で会長をしていた時に、同様のことをやろうとして「前例がない」と言われ、大変だったことがあります。私がその時こだわったのは、議事録に残すということでした。先例を作るということです。「教育委員会から社会教育委員にこういう質問を出します」というのは、おそらく正式な議事録として残っていると思います。そう考えると「答申が出ました」「社会教育委員から説明がありました」ということも議事録に残るような方法でお渡しすることが正しいやり方なのではないかと思うのです。

○沼上委員

私も議事録に残るほうがよいと思います。教育委員会の議事録を検索して、議事録に上がっている議題を確認するかたもいらっしゃいます。議事録に残るようなかたちで答申をお渡しできれば、教育委員会に対して社会教育委員がこのような働きかけをしているということを、より広く市民に広めることにつながると思います。

○吉原議長

確かに、教育委員というのは御存じでも「社会教育委員は何をしているのか」と言われてしまうこともあります。この答申提出の件に関しては、教育委員会の会議の場でお渡し

できるように、事務局から教育委員会に御相談をいただきたいと思います。

○事務局

本日すぐに結論は出せないと思いますが、検討させていただきます。

本日いただいた答申素案の修正点につきまして、今一度確認させていただきます。

10ページ「III 茅ヶ崎市としての今後の在り方について」というところにまず結論を目立つように入れるということが1つ。それから、12ページ、「5 推進員の活動時間」に関しては、「茅ヶ崎寒川地区小学校長会」に調査をしたということがもう少し具体的に分かるような表現に修正をする。想定される活動に対する平均活動時間に対して、最小値、最大値を記載する。そして、各グラフは、時間軸になっているグラフは別として、それ以外のグラフについては回答数の大きい項目順に並び替える。以上が今回の修正事項ということでおろしいでしょうか。

○吉原議長

そうですね。ありがとうございます。

○事務局

はい、分かりました。ありがとうございます。

○吉原議長

再度答申に目を通されて、何かお気づきになられたことがありましたら、事務局へお声を上げていただければありがたいです。答申の素案については、以上でよろしいでしょうか。

(一同了承)

○吉原議長

ありがとうございました。起草委員会は皆様どなたでも参加していただいておりますので、どうぞお時間の御都合がつかたは御参加いただければと思います。

○吉原議長

関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について何か御説明はございますか。

○事務局

少し補足説明をいたします。机上に大会の参加の書類を置かせていただいております。右側に二次元バーコードの入った紙がチケットとなります。1日目と2日目両日参加されるかたへは各日分2枚のチケットをお渡ししています。当日、必ずこちらをお持ちいただ

いて御参加くださいますようお願ひいたします。万が一紛失等、何かございましたら、御連絡いただければと思います。よろしくお願ひいたします。

当日は、700人近い参加者がいる上に、発表者として裏方で準備する方もおり、皆様全員と会場でお会いすることはできない可能性もあります。後日、御参加の有無や交通費やその経路など、電話やメール等でお伺いすることになるかと思います。御協力お願ひいたします。

○吉原議長

ありがとうございました。

○山本委員

今回初めて参加するのですが、茅ヶ崎市はこの辺りに座ってくださいというような席順などは決まっていないのですか。

○事務局

決まっていないです。完全自由席になります。

○吉原議長

皆様、場所は大丈夫でしょうか。1日目は関内ホールだけですが、2日目は色々な場所に会場が散らばっています。お時間に余裕を持って参加していただければありがたいと思います。そして、ぜひ後日、色々な分科会に出られたお話をさせていただければありがたいです。よろしくお願ひします。また、当日配布されます冊子に関しては、協賛金の御協力をお願ひしておりましたが、加藤委員が御尽力くださいまして、茅ヶ崎市として3件の協賛金を頂戴いたしました。ありがとうございました。

○吉原議長

それでは、議題3 その他に移ります。沼上委員より御報告お願ひいたします。

○沼上委員

茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員として活動報告させていただきます。8月1日に市長へ答申を出すことができました。非常に丁寧な審議を重ねまして、とても良い答申ができました。答申作成の経過としましては、「クリエイターシティチガサキを目指して」ということで、茅ヶ崎の中でクリエイターを育成できるような環境作りについて、施設や人材など様々な分野について各立場の委員の方々のすばらしい発言力のおかげで、多岐にわたり、より幅広い議論することができ、充実した答申を作成することができました。以上、簡単に報告させていただきました。ありがとうございました。

○吉原議長

ありがとうございました。では、今後のスケジュールについて事務局からお願いいいたします。

○事務局

今後のスケジュールということで資料3を配付させていただいております。来年2月6日に社会教育委員の会議の定例会を予定しております。この定例会の場で答申を確定させたいと考えております。先ほど吉原議長からありましたように、11月末の神奈川大会後に起草委員会を開催するということで、12月か1月あたりで開催をさせていただければと思います。この起草委員会につきましては、事務局から日程調整等連絡させていただきますので、どうぞよろしくお願いいいたします。本日いただいた御意見を踏まえて、事務局で答申案を修正いたしますと、おそらく今日の修正だけであれば、あと1回の起草委員会でまとめることができますと考えておりますので、よろしくお願いいいたします。

○吉原議長

はい、ありがとうございました。本日、下村委員の発表を聞きましたが、当日は凜として発表いただければ全く問題ないと思いますので、楽しみにしております。

それでは、本日の議題につきましては全て終了いたしましたので、これをもちまして令和7年度社会教育委員の会議の臨時会を閉会といたします。皆様、ありがとうございました。

以上